

ひょうごらくのうメモ

平成30年1月号

おいしいね 兵庫の牛乳 もう一本！



挿絵提供 題名 “牛さんが大きくなっちゃった” 川原 みおん 7才
(淡路市大谷)

目次 (第34回らくのうひょうごフェスティバル応募作品)

1	生乳動向 (累計)
2	行事メモ 30年1月
3	計画生産推進一覧表《29年度12月》
4	用途別販売成績《29年度12月》
5	生乳検査実績速報《29年度12月》
6	淡路家畜市場情報《29年度12月》
7	隣県家畜市場情報《29年度12月》
8	北海道産牛価格情勢《29年度12月》
9	北海道乳牛産地情報《29年度12月》
10	牛群成績平均情報《29年度12月》
11	乳用牛改良情報《29年度12月》
12	輸入粗飼料の情勢《29年度12月》

酪農メモ

平成30年1月
兵庫県酪農協

報告

1. 生乳生産量の動き (全国)・・・(平成29年12月・牛乳乳製品統計)

	生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
平成29年 4月	616.7	97.8
平成29年 5月	645.2	98.8
平成29年 6月	614.5	98.1
平成29年 7月	610.2	96.7
平成29年 8月	600.5	98.4
平成29年 9月	580.7	99.2
平成29年10月	600.7	100.0
平成29年11月	582.6	100.6
平成29年12月	610.9	100.2
平成30年 1月		
平成30年 2月		
平成30年 3月		
平成29年度累計	5462.0	98.8

2. 生乳計画生産推進の状況 (兵庫県酪協扱い分・公共施設を除く)

(平成29年12月・前年より409.2トンの減、・9管内中前年より増加は無し)

	計画生産対象数量 (kg)	対前年比 (%)	対前々年比 (%)	戸数 (戸)
平成29年 4月	7,179,451	97.6	94.7	279
平成29年 5月	7,364,546	98.5	96.4	278
平成29年 6月	6,894,142	99.3	97.3	278
平成29年 7月	6,611,755	96.6	94.4	278
平成29年 8月	6,297,029	96.2	93.8	276
平成29年 9月	6,308,307	97.8	95.9	274
平成29年10月	6,495,673	97.9	96.2	274
平成29年11月	6,277,764	96.5	93.7	274
平成29年12月	6,499,255	94.1	91.3	271
平成30年 1月				
平成30年 2月				
平成30年 3月				
平成29年度累計	59,927,922	97.2	94.9	271

3. 行事メモ <平成30年1月>

- ◆ 1月 5日 兵庫県ホルスタイン改良協議会役員会 淡路供給センター2F
第36回兵庫県B&Wショウ・第33回中国地区B&Wショウ・第9回ゼンブ
ラ並びにセントラル他直近開催される各ショウの打合せが行われました。
- ◆ 1月15日 第55回淡路農林水産祭 淡路市伊弉諾神宮
淡路における農林水産の技術改善と同産業の発展を目的とし、豊穰・豊漁
祈願祭や表彰・コンクール展示即売等が行われました。また、乳質改善の表彰に於い

て金賞（知事賞）南あわじ市 岡本孝史氏を始め10名受賞されました。

◆ 1月17日 平成29年度後期牛群審査・体型調査
～22日

牛群審査 15戸 166頭

後代検定娘牛と同期牛の体型調査 23戸 94頭

◆ 1月31日 理事会（第14回）

報告事項 1) 平成29年生乳生産進捗状況について

2) 平成29年度11月末次決算について

3) 平成29年度脱退者（法定・任意）について

4) 山本代表監事就任について

協議事項 1) 集乳分離に対する再確認について

2) 組合諸規程・規則の一部改訂の承認について

3) 平成29年度酪農研究会開催要領（案）について

4) 借入金の繰上げ償還（契約変更）について

5) 組合員加入申込みの承認について

6) 組合員の出資口数減少請求について

4. 行事予定＜平成30年2月＞

2月 6日 近畿生乳販連理事会・販売委員会（京都）

13日 全酪連 酪農セミナー（岡山）

23日 理事会（第15回）

26日 全酪連 酪農生産研究会冬季研修会（熊本）

～28日

● 2月精液配布コース予定日

6日但馬コース 7日淡路コース 20日西播コース 27日東播コース

平成29年度12月用途別販売実績（速報）

平成30年1月16日
一般社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	318,404	102.1 (102.3)	2,849,835	99.4 (99.5)	北海道	318,404	102.1	2,849,835	99.4
青森	5,448	105.7	46,149	98.7					
岩手	16,338	98.6	147,366	97.8					
宮城	9,496	99.8	86,321	100.0					
秋田	2,129	96.7	19,287	94.1					
山形	4,916	95.4	46,002	96.9					
福島	5,638	99.4	51,141	97.2					
東北生乳販連	43,966	99.3	396,266	98.0	東北生乳販連	43,966	99.3	396,264	98.0
茨城	13,679	101.9	122,836	103.9					
栃木	26,147	97.0	240,682	99.2					
群馬	16,454	95.4	151,496	96.8					
埼玉	4,448	96.6	40,531	97.2					
千葉	16,961	96.0	153,339	97.5					
東京	770	92.0	7,119	96.5					
神奈川	2,752	92.6	25,977	95.7					
山梨	1,015	103.9	8,974	99.2					
静岡	7,094	98.2	64,339	99.1					
関東生乳販連	89,318	97.2	815,291	98.8	関東生乳販連	89,318	97.2	815,291	98.8
新潟	3,554	93.9	33,068	95.3					
富山	930	94.3	8,388	92.0					
石川	1,650	98.7	14,539	94.8					
福井	458	92.6	4,111	93.0					
北陸酪連	6,592	95.0	60,106	94.5	北陸酪連	6,592	95.0	60,106	94.5
長野	7,789	96.8	70,240	95.4					
岐阜	3,004	95.9	27,273	96.1					
愛知	14,403	97.2	129,065	96.8					
三重	4,475	101.7	39,665	101.7					
東海酪連	29,671	97.6	266,244	97.0	東海酪連	29,671	97.6	266,244	97.0
滋賀	1,484	92.9	13,723	96.3					
京都	1,563	90.8	14,054	89.9					
大阪	773	97.5	7,042	97.3					
兵庫	6,499	94.1	59,928	97.2					
奈良	1,922	94.0	17,831	94.6					
和歌山	401	96.8	3,710	100.7					
近畿生乳販連	12,642	93.8	116,288	95.9	近畿生乳販連	12,642	93.8	116,288	95.9
鳥取	4,599	98.0	41,359	99.5					
島根	5,449	99.2	48,436	97.6					
岡山	7,471	100.4	65,427	96.3					
広島	3,742	95.2	34,894	97.3					
山口	1,255	93.3	11,344	94.9					
中国生乳販連	22,516	98.3	201,461	97.4	中国生乳販連	22,516	98.3	201,461	97.4
徳島	2,528	95.0	22,677	96.9					
香川	2,827	95.7	26,407	100.2					
愛媛	2,214	94.2	20,273	94.8					
高知	1,666	91.5	15,466	94.9					
四国生乳販連	9,235	94.4	84,822	97.0	四国生乳販連	9,235	94.4	84,822	97.0
福岡	6,377	98.7	56,109	96.7					
佐賀	1,215	91.7	10,459	91.2					
長崎	3,225	93.1	28,932	96.5					
熊本	20,352	99.7	179,381	99.0					
大分	5,686	95.7	50,272	94.5					
宮崎	6,313	95.3	56,429	95.0					
鹿児島	7,008	99.0	61,858	96.7					
九州生乳販連	50,176	97.8	443,441	97.0	九州生乳販連	50,176	97.8	443,441	97.0
都府県	264,117	97.5	2,383,920	97.7	都府県	264,117	97.5	2,383,917	97.7
合計	582,521	99.9 (100.0)	5,233,755	98.6 (98.7)	合計	582,521	99.9	5,233,752	98.6

注) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比

注3) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

3) 飲用牛乳向

4) はっ酵乳等向

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	62,563	-	646,940	-	北海道	1,663	-	15,507	-
東北生乳販連	31,236	-	296,978	-	東北生乳販連	6,312	-	61,760	-
関東生乳販連	64,882	-	625,128	-	関東生乳販連	11,927	-	117,235	-
北陸酪連	6,149	-	56,869	-	北陸酪連	284	-	2,350	-
東海酪連	23,790	-	218,308	-	東海酪連	3,866	-	38,716	-
近畿生乳販連	11,703	-	108,126	-	近畿生乳販連	773	-	7,056	-
中国生乳販連	16,728	-	148,562	-	中国生乳販連	4,405	-	44,320	-
四国生乳販連	8,754	-	80,718	-	四国生乳販連	304	-	2,763	-
九州生乳販連	30,761	-	313,460	-	九州生乳販連	7,022	-	70,184	-
都府県	194,003	-	1,848,149	-	都府県	34,893	-	344,384	-
合計	256,566	-	2,495,088	-	合計	36,555	-	359,890	-

5) 特定乳製品向け（脱脂粉乳・バター等向け）

6) 生クリーム等向け

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	114,343	95.1	938,827	95.3	北海道	105,320	-	952,362	-
東北生乳販連	4,819	100.1	28,823	87.5	東北生乳販連	1,396	-	6,722	-
関東生乳販連	10,869	85.1	58,591	88.0	関東生乳販連	1,584	-	13,784	-
北陸酪連	99	93.1	450	101.1	北陸酪連	55	-	386	-
東海酪連	1,804	92.7	7,274	86.2	東海酪連	89	-	701	-
近畿生乳販連	101	35.7	269	50.8	近畿生乳販連	65	-	822	-
中国生乳販連	867	84.1	4,798	97.6	中国生乳販連	484	-	3,478	-
四国生乳販連	39	50.5	48	34.6	四国生乳販連	131	-	1,242	-
九州生乳販連	9,199	97.3	34,979	90.1	九州生乳販連	3,097	-	23,933	-
都府県	27,795	91.2	135,232	88.5	都府県	6,900	-	51,067	-
合計	142,138	94.3	1,074,059	94.4	合計	112,220	-	1,003,429	-

7) チーズ向け

8) 全乳哺育向け

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	34,515	114.9	296,200	97.0	北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	203	83.7	1,981	97.1	東北生乳販連	0	-	3	23.3
関東生乳販連	56	88.5	553	97.0	関東生乳販連	0	-	0	-
北陸酪連	6	93.7	51	103.2	北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	121	86.4	1,245	100.6	東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	1	99.8	15	82.9	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	33	105.3	304	98.0	中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	7	-	51	127.2	四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	98	100.4	885	97.8	九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	526	90.2	5,085	98.4	都府県	0	-	3	23.3
合計	35,041	114.4	301,285	97.0	合計	0	-	3	23.3

注1) この速報は、キロ（kg）で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 今年度から生クリーム等向けの定義が変わり、飲用牛乳・はっ酵乳等向けに移った数量がありデータに連続性がないため、それぞれの前年比は表示しておりません。

注3) 北海道の生クリーム等向けには、その他向けが含まれています。

注4) 今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

生乳検査実績速報

＊ ＊平成29年12月分＊ ＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率4.08%（前年同月+0.07%）、乳蛋白質率3.46%（前年同月比+0.07%）、無脂固形分率8.83%（前年同月比+0.05%）、体細胞数30.9万/ml（前年同月比-0.6万/ml）、細菌数11.3万/ml（前年同月比+4.8万/ml）であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

（単位：戸・%・万/ml）

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪 神	43	43	4.10	4.04	3.43	3.41	8.78	8.75	29.2	32.9	9.4	8.7
播 州	67	67	4.08	4.03	3.47	3.45	8.85	8.83	34.5	33.9	27.6	6.1
丹 但	35	36	4.07	4.00	3.54	3.51	8.93	8.89	33.6	32.3	7.8	5.8
淡 路	123	123	4.08	4.02	3.44	3.40	8.81	8.78	28.7	28.1	4.0	4.8
県 平 均	268	269	4.08	4.02	3.46	3.43	8.83	8.80	30.9	30.9	11.3	5.9

『地域別乳質改善目標達成割合』

（単位：件・%）

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率 3.7%以上	乳蛋白質率 3.2%以上	無脂固形分率 8.7%以上	体細胞数 25万未満	細菌数 10万未満
阪 神	129	91.5	94.6	68.2	55.0	87.6
播 州	201	94.0	98.0	79.1	47.3	90.0
丹 但	102	91.2	99.0	87.3	52.9	88.2
淡 路	369	91.9	90.8	70.7	62.6	93.0
県 平 均	801	92.3	94.3	74.5	56.3	90.8

『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

（単位：件・%・万/ml）

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵庫六甲	129	4.10	91.5	3.43	94.6	8.78	68.2	29.2	55.0	9.4	87.6
みのり	45	4.00	91.1	3.41	91.1	8.79	68.9	40.4	40.0	107.3	77.8
東 播	117	4.07	94.0	3.46	100.0	8.84	82.1	35.6	44.4	5.4	92.3
西 播	39	4.20	97.4	3.57	100.0	8.94	82.1	24.4	64.1	2.2	97.4
北 但	28	4.21	96.4	3.60	96.4	9.00	89.3	46.5	42.9	10.6	67.9
兵庫丹但	68	4.00	88.2	3.51	100.0	8.90	85.3	29.3	54.4	7.2	95.6
たじま	6	4.09	100.0	3.55	100.0	8.89	100.0	18.9	83.3	1.4	100.0
淡路日の出	57	4.02	91.2	3.36	89.5	8.76	63.2	30.1	63.2	2.5	100.0
淡路島	312	4.09	92.0	3.45	91.0	8.82	72.1	28.5	62.5	4.3	91.7
県 平 均	801	4.08	92.3	3.46	94.3	8.83	74.5	30.9	56.3	11.3	90.8

淡路家畜市場情報

平成29年12月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	14	228,034	275,400	167,400			56
前回	18	183,000		238,680	36,720			57	45,034	24.6%	
前年	32	233,651		306,720	163,080			54	-5,617	-2.4%	
オス	今回	25	246,802	321,840	75,600			56			
	前回	23	249,104	311,040	104,760			55	-2,302	-0.9%	
	前年	18	294,540	370,440	212,760			53	-47,738	-16.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	17	86,591	139,320	3,240			54			
	前回	12	74,790	103,680	12,960			55	11,801	15.8%	
	前年	15	108,720	137,160	82,080			53	-22,129	-20.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は平成29年11月25日・前年は平成28年12月9日

平成29年12月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	17	211,489	290,520	124,200			57
前回	14	228,034		275,400	167,400			56	-16,545	-7.3%	
前年	22	248,596		311,040	177,120			50	-37,107	-14.9%	
オス	今回	25	259,805	365,040	181,440			56			
	前回	25	246,802	321,840	75,600			56	13,003	5.3%	
	前年	19	282,051	361,800	180,360			54	-22,246	-7.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	1	37,800	37,800	37,800			60
前回											
前年											
オス	今回	12	89,910	113,400	45,360			55			
	前回	17	86,591	139,320	3,240			54	3,319	3.8%	
	前年	23	97,717	124,200	74,520			51	-7,807	-8.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は平成29年12月9日・前年は平成28年12月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	45,380	991	41,498	2,237	45,757	433	46,726	124,624	
27年次	64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
28	1	76,548	90	91,636	158	111,080	27	112,142	9,709
	2	82,502	82	91,509	156	95,842	31	113,885	9,279
	3	98,757	102	102,968	185	102,004	29	113,158	10,264
	4	105,777	86	124,165	156	114,895	26	119,542	9,276
	5	116,872	70	128,958	111	128,179	19	135,924	9,004
	6	125,864	37	135,982	110	135,617	14	134,484	9,233
	7	105,962	62	133,011	133	160,007	13	116,795	9,572
	8	117,145	77	121,360	135	118,908	20	98,135	11,045
	9	96,317	77	103,858	182	89,843	32	87,204	10,264
	10	79,468	67	81,273	178	66,221	38	92,711	9,470
	11	95,481	93	97,150	150	98,490	36	99,112	9,719
	12	82,177	89	94,986	139	89,802	40	91,166	9,342
29	1	78,093	104	92,327	199	74,455	33	84,190	9,183
	2	85,097	97	92,766	123	64,548	30	98,315	8,483
	3	91,912	77	95,857	172	66,350	23	110,799	9,400
	4	101,196	70	112,040	143	100,552	29	116,828	8,803
	5	104,079	84	130,527	113	109,550	23	121,329	8,616
	6	108,921	34	135,761	115	136,234	14	137,632	8,181
	7	120,508	55	124,506	134	104,040	15	118,899	8,817
	8	107,178	67	107,911	158	115,020	18	97,028	10,455
	9	84,925	82	90,397	144	60,619	31	92,868	9,800
	10	86,820	108	92,828	165	78,259	26	105,133	10,135
	11	88,800	90	86,446	188	88,221	35	118,793	9,574
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
26年次	160,668	3,350	157,194	4,692	200,255	3,030	162,876	153,389	
27年次	192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
28	1	213,238	303	202,822	475	281,982	295	224,257	14,061
	2	214,273	342	209,469	444	271,354	276	229,554	13,772
	3	223,849	381	217,176	531	277,722	287	236,767	15,201
	4	253,843	323	255,633	430	308,423	260	250,058	13,264
	5	279,766	301	270,527	383	315,630	236	264,799	13,066
	6	294,349	209	287,045	450	340,358	233	281,350	12,717
	7	285,071	244	280,770	363	384,258	180	285,459	12,677
	8	277,388	276	280,096	391	339,831	193	270,947	14,607
	9	281,508	261	280,947	499	321,886	236	255,391	14,400
	10	266,688	314	264,337	403	304,279	273	247,866	14,005
	11	272,821	356	266,333	455	312,788	236	259,911	14,562
	12	263,578	334	261,791	473	320,622	306	264,140	14,274
29	1	253,129	394	260,011	442	317,228	325	258,295	14,423
	2	276,805	289	263,012	402	300,487	293	269,209	12,744
	3	271,717	302	263,300	482	298,601	251	277,565	13,566
	4	292,111	262	283,986	398	344,232	270	298,087	12,594
	5	306,824	291	305,832	327	338,071	239	297,879	13,124
	6	325,804	200	320,555	415	357,072	180	296,850	11,689
	7	301,414	207	296,951	349	362,240	162	282,085	11,588
	8	292,081	283	283,966	528	339,607	173	248,789	13,226
	9	254,365	260	254,589	393	279,054	240	230,024	12,678
	10	230,264	295	209,166	391	271,433	205	222,022	14,025
	11	217,210	266	201,102	487	268,621	242	227,183	13,614
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(平成30年1月版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

29年12月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
			前年同月比(参考)	前年同月比(参考)	前年同月比(参考)
ホクレン北見市場	1日	656,000円	576,000円	80,000	113.9%
ホクレン南北海道市場	8日	768,000円	818,000円	-50,000	93.9%
ホクレン豊富市場	14日	834,000円	924,000円	-90,000	90.3%
ホクレン根室市場	18日	859,000円	957,000円	-98,000	89.8%
ホクレン釧路市場	19日	796,000円	921,000円	-125,000	86.4%
ホクレン十勝市場	20・21日	853,000円	990,000円	-137,000	86.2%
ホクレン北見市場	22日	744,000円	938,000円	-194,000	79.3%
				0	0.0
平均		824,000円	950,000円	-126,000	86.7%

1月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン南北海道市場	12日	768,000円	897,000円
ホクレン釧路市場	17日	796,000円	917,000円
ホクレン根室市場	18日	859,000円	927,000円
ホクレン豊富市場	19日	834,000円	931,000円
ホクレン十勝市場	23、24日	853,000円	955,000円
ホクレン北見市場	25日	656,000円	902,000円
平均		824,000円	932,000円

2月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン根室市場	5日	919,000円
ホクレン十勝市場	6日	945,000円
ホクレン南北海道市場	9日	891,000円
ホクレン豊富市場	15日	871,000円
ホクレン根室市場	19日	890,000円
ホクレン釧路市場	20日	842,000円
ホクレン十勝市場	21日	912,000円
ホクレン北見市場	22日	852,000円
平均		896,000円

兵庫県酪農協 購買課

北海道乳牛産地情報

(平成29年12月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	管 内 状 況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	5.0~6.0	札幌管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計100.1%、累計で94.4%、苫小牧管内月計で102.8%、累計で98.5%の実績となっております。
	初妊牛	8.3~9.3	12月の初妊牛動向としては、2~3月分娩のF1腹がメインとなり、11月開催の同地域の乳牛市場では弱含みの動きを見せましたが、牛なりの良いものについてはそれなりの値段がついていることから、庭先購買で中クラス以上を求めると、価格は横這いでの推移するものと思われ、高能力牛も出てくる地域です。ご要望があれば、お早目のご注文をお願い致します。育成牛につきましても、道内各地の市場へ購買が入っており、高値が続くものと思われ、
	経産牛	4.5~5.0	札幌管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で101.8%、累計で98.0%、中標津管内月計で102.3%、累計で100.0%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	5.8~6.8	12月の初妊牛動向としては、3月~4月分娩腹が中心の動きとなります。11月上旬にはやや弱めの相場展開をみせましたが、道内の大型牧場の導入が活発化すること、年明けの相場上昇を見越し前倒しでの導入が増える可能性があることから、横這いから強められると見込まれます。また、育成牛についても管内で大型牧場の導入が活発化しており強含みで動くものと思われ、
	初妊牛	8.5~9.5	帯広管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.3%、累計で98.9%の実績となっております。
	経産牛	5.5~6.5	12月の初妊牛動向としては、2~3月分娩のF1腹がメインとなり、資源は昨年並みであると予想されるものの、道内酪農家における生乳生産意欲が旺盛であり一定の道内需要が見込まれること、また道内外のメガ・ギガファームの大型導入も活発化となっており、今年も昨年同様に、相場が急騰する可能性が、特に雌雄選別腹は引き合いが強く、牛なりの良いものについてはF1腹以上の価格となることもあります。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	5.2~6.2	道北管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、道北管内月計で101.6%、累計で99.0%、北見管内では月計で102.2%、累計で99.2%の実績となっております。
	初妊牛	8.5~9.5	12月の初妊牛動向としては、2~3月分娩のF1腹がメインとなり、11月の初妊牛相場は、比較的落ち着いた展開となり、12月の相場の面から横這いで予想しており、価格の下がる要素は少ないと思われ、現在、雌雄選別腹、F1腹ともに80万円台で推移しておりますが、牛なりの良いものについては90万円を超える価格になると思われます。道内外において、クラスター事業を利用した規模拡大農家の初妊牛更新も始まっており、
	経産牛	5.3~6.3	道内の11月中旬までの生乳生産量前年比は102.4%、累計で99.0%の実績となっております。
道北管内	育成牛(10-12月令)	5.0~6.0	12月の初妊牛動向としては、2月~3月分娩の出頭数は年間で最も多くなり、本会の庭先購買及び道内各市場の出頭数をみますと、資源としては、昨年並みの資源状況となっております。一方、需要ですが本会取扱頭数及び道内各市場の成立頭数は減少傾向にあり、需要は昨年と比較し、やや弱い状況となっております。しかしながら、今後道内外におけるメガ・ギガファームの大型導入は順次計画されており、短期的には相場が上昇する展開も考えられます。育成牛については、道内外メガ・ギガファームの引き合いが顕著となり、先月相場はやや強めの展開となりました。家畜輸送が盛み合うシーズンとなり、道内外メガ・ギガファームの導入を希望される場合は12月上旬までの早めのご注文をお願いいたします。
	初妊牛	8.0~9.0	道内の11月中旬までの生乳生産量前年比は102.4%、累計で99.0%の実績となっております。
	経産牛	5.0~6.0	12月の初妊牛動向としては、2月~3月分娩の出頭数は年間で最も多くなり、本会の庭先購買及び道内各市場の出頭数をみますと、資源としては、昨年並みの資源状況となっております。一方、需要ですが本会取扱頭数及び道内各市場の成立頭数は減少傾向にあり、需要は昨年と比較し、やや弱い状況となっております。しかしながら、今後道内外におけるメガ・ギガファームの大型導入は順次計画されており、短期的には相場が上昇する展開も考えられます。育成牛については、道内外メガ・ギガファームの引き合いが顕著となり、先月相場はやや強めの展開となりました。家畜輸送が盛み合うシーズンとなり、道内外メガ・ギガファームの導入を希望される場合は12月上旬までの早めのご注文をお願いいたします。
道内総括	育成牛(10-12月令)	5.2~6.0	道内の11月中旬までの生乳生産量前年比は102.4%、累計で99.0%の実績となっております。
	初妊牛	8.5~9.5	12月の初妊牛動向としては、2月~3月分娩の出頭数は年間で最も多くなり、本会の庭先購買及び道内各市場の出頭数をみますと、資源としては、昨年並みの資源状況となっております。一方、需要ですが本会取扱頭数及び道内各市場の成立頭数は減少傾向にあり、需要は昨年と比較し、やや弱い状況となっております。しかしながら、今後道内外におけるメガ・ギガファームの大型導入は順次計画されており、短期的には相場が上昇する展開も考えられます。育成牛については、道内外メガ・ギガファームの引き合いが顕著となり、先月相場はやや強めの展開となりました。家畜輸送が盛み合うシーズンとなり、道内外メガ・ギガファームの導入を希望される場合は12月上旬までの早めのご注文をお願いいたします。
	経産牛	5.3~6.3	道内の11月中旬までの生乳生産量前年比は102.4%、累計で99.0%の実績となっております。

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選者購買による予想相場です。

庭先選者購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《 各 事 務 所 電 話 番 号 》
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232
 帯広事務所 ☎(0156)37-6051
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力をお願い申し上げます。
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
 担当者がお伺いし、最近の状況を説明し、納得いただいたら、購買のお手伝いを致します。
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

移動 13カ月 成績 検査月	授精			授精状況			妊娠			管理状況 (除糞牛を含む)																
	肉牛 交配率	肉牛 授精回数 3回以上率	肉牛 授精回数 3回以下率	授精 開始	未授精 開始	経産 JMR	妊	空胎 率	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数	日数
12	842	8.9	29	3.0	43	44	83	14.1	59		2308	19.4	180	6	15	15	13	51	62	12	64	24	11	90		
1	814	8.6	24	2.8	39	34	81	13.9	56		2238	19.6	180	6	15	14	14	51	62	12	65	23	11			
2	771	8.1	30	2.9	39	38	81	13.8	55		2313	19.8	179	7	15	14	13	50	61	12	65	23	11			
3	806	8.5	29	2.8	41	38	83	14.6	54		2345	20.2	179	7	15	14	13	50	61	12	65	22	10			
4	760	8.0	25	2.8	39	39	82	14.8	54		2447	21.5	175	7	16	15	13	49	61	12	66	22	10			
5	760	8.0	26	2.8	40	30	86	15.5	52		2543	23.4	173	7	17	16	13	47	61	12	66	22	10			
6	748	7.9	25	2.9	45	30	90	14.2	53		2740	24.2	173	7	17	16	13	48	61	12	66	22	10			
7	626	6.6	26	2.9	45	27	83	14.2	54		2816	25.1	172	7	16	16	13	47	60	13	65	21	10			
8	580	6.1	28	3.0	47	28	88	14.5	50		2718	24.5	175	7	16	16	13	49	60	13	66	21	10			
9	848	8.9	28	3.1	47	36	88	13.9	50		2611	24.0	177	6	15	16	14	49	59	14	67	20	9			
10	818	8.6	24	3.1	47	18	79	13.4	58		2261	21.1	175	6	15	16	14	50	59	14	66	19	9			
11	749	7.9	25	3.1	47	21	85	14.3	60		2117	19.6	180	6	13	15	13	52	59	14	67	19	9			
12	399	4.2	30	2.8	41	0	97	13.3	60		1894	17.8	187	8	11	14	12	55	58	16	65	20	9			
平均・計	9122	96.0	27	2.9	19	34	84	14.3	54		1886	19.8	180	7	14	16	13	50	60	14	64	22	10			
前年成績	9215	97.0	30	2.9	19	37	86	14.5	55		1906	20.1	176	8	14	16	12	50	62	13	63	25	12			

()内は、1戸平均。

月	経産牛1頭当たり年間成績		P/F 比		
	乳量	無脂固形 分率			
12	9010	3.96	3.34	8.78	0.84
1	9015	3.96	3.34	8.79	0.84
2	9069	3.96	3.34	8.78	0.84
3	9054	3.97	3.35	8.79	0.84
4	8957	3.92	3.35	8.80	0.86
5	9082	3.98	3.35	8.79	0.84
6	9107	3.97	3.35	8.79	0.84
7	9106	3.98	3.35	8.79	0.84
8	8989	3.93	3.35	8.79	0.85
9	9011	3.93	3.35	8.79	0.85
10	9148	3.98	3.35	8.79	0.84
11	8939	3.94	3.35	8.79	0.85

授精報告	未経産	220	頭	74	%	
頭数	経産	2782	頭	72	%	
頭数	59以下	60	80	100	120	
頭数	60	79	99	119	150	
頭数	79	12	8	5	21	
頭数	120以上	227	28	20	11	13
頭数	初前回授	730	27	18	8	16
頭数	授精	2298	26	20	10	17
繁殖に供さない牛 13 頭						

項目別 種畜牛成績	種畜牛区分別雌牛頭数		種畜牛頭数		種畜牛情	
	頭数	産乳率	頭数	産乳率	乳量	乳質率
授精・妊娠	2991	44	52	+2217	+1024	+0.03
産乳	687	57	38	+1789	+774	+0.07
未経産	411	72	20	+1470	+642	+0.05
1産	1238	71	23	+1043	+579	-0.04
2産以上	2603	71	28	+822	+432	+0.01
合計						

分娩月齢	21以下		22		23		24		25		26		27		28		29		30以上		合計頭数					
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%				
2産	764	25	18	12	9	37	446	(465)																		
3産	557	24	18	15	10	34	448	(464)																		
4産以上	648	20	18	13	11	39	453	(475)																		
平均又は合計	1969	23	18	13	10	37	449	(468)																		

注) 乳代効果と無胎面形成率には海外種畜牛は含まれておりません

月別分娩 予定期間	12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		合計頭数	
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%
12月	12	10	13	16	17	14	13	14	16	10	9	7	16	10	11	16	1597	16
1月	13	13	17	17	14	13	16	16	10	7	7	16	10	10	10	16	166	10

年間 追加工 除糞牛	追加工 頭数	追加工 比率	除糞																						
			乳器障害 率	乳房炎 率	繁殖 障害	肢蹄 障害	消化 器病	起立 不能	疾病 計	低 能力	乳用 売却	計	除糞 率												
未経産	399	9.4	11.8		2.9	5.9	11.8	29.4									14.7	44.1	34	1					
1産	702	16.5	15.8	(2.3)	12.6	1.8	1.4	9.0	14.9	6.8	14.4	35.1	222	5			14.4	35.1	263	6					
2産	6	0.1	18.6	(3.0)	12.2	3.4	0.8	11.0	20.2	6.5	6.8	35.4	6				10.1	33.8	666	16					
3産以上	15	0.4	16.8	(5.6)	10.4	4.4	1.5	7.7	15.3	12.5	10.1	33.8	666	16											
除糞日までの年齢(歳-月)	5-4	(6-2)	5-6	5-4	4-6	4-11	5-0	6-2	5-3	5-7															
除糞日までの分娩後日数	263	(293)	428	234	197	288	263	346	285	380															

注) 除糞率平均には乳用売却は含まれておりません

NTP上位40位以内【新規牛は除く】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱っているもの)

総合指数順 (N T P)

《2017-8》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種値)						体型のEBV				血統情報		管理形質					
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体高と 骨格	肢蹄	乳用 強健 性	乳器	決定 得点	体高 胎入り	父牛	母系祖父	産子難産率	在群期間	繁殖特異性
A	1	JP4H55951	アイユー・レディスマン・ジョージ	67,999	138,129	2,876	1,332	67	0.15	122	0.06	53	0.11	0.46	1.02	0.83	0.99	1.08	2.40	ビーゴ	アイユー	6	66	0.72
A	2	JP3H55926	ウインザ・マナー SW ナイフグア ET	97,139	180,530	2,836	1,806	77	0.07	168	0.05	53	-0.04	0.54	-0.35	0.22	0.26	0.41	2.41	アイフグア	アイユー	6	56	-0.02
A	3	JP3H56191	カトム サンダー・バート	74,075	127,364	2,754	1,137	69	0.26	117	0.15	47	0.10	1.68	0.75	1.18	1.11	1.47	2.30	アイユー	アイユー	6	64	2.37
A	4	JP5H55552	サンワード スーパー・エモーション ET	116,214	141,246	2,590	1,425	58	0.03	139	0.04	46	0.01	-0.06	0.64	0.59	0.84	0.71	1.72	アイユー	アイユー	6	63	1.62
A	5	JP4H56400	ペリッツランド スーパースター・バウエル ET	89,655	104,136	2,572	881	75	0.04	72	0.06	37	0.09	1.53	0.33	1.20	0.99	1.28	2.14	アイユー	アイユー	6	54	0.01
A	6	JP3H56451	ハイムリー ナックル・ホーイ	5,159	94,306	2,551	725	70	0.42	80	0.18	41	0.20	1.13	0.69	1.36	1.50	1.58	2.69	アイユー	アイユー	6	61	0.21
A	8	JP3H55839	アイユー・ナイト・エクリウス ET	109,716	146,929	2,424	1,568	30	-0.30	156	0.18	51	0.02	0.48	0.29	0.32	1.09	0.97	1.47	アイユー	アイユー	7	60	-0.64
A	9	JP4H56365	アイユー・フェイス・アットホーイ	108,116	86,752	2,420	669	61	0.37	70	0.18	33	0.12	1.05	0.36	-0.09	0.99	1.00	2.03	アイユー	アイユー	6	57	0.82
A	11	JP5H56250	クワケット・エカーズ M エグザイル	48,563	143,590	2,261	1,480	57	0.00	118	0.00	49	0.00	0.88	0.21	0.55	-0.16	0.14	2.20	アイユー	アイユー	6	63	1.04
A	13	JP3H56137	ケネカランド・ハンナ・ベル スカイ ET	98,880	124,879	2,221	1,397	29	-0.25	122	0.00	43	-0.03	0.71	1.37	0.74	1.22	1.45	2.18	アイユー	アイユー	7	64	1.46
A	14	JP3H56115	ピュアソウル・ロズ・バウツォ	54,780	92,778	2,207	758	37	0.09	99	0.39	45	0.21	0.24	0.62	0.28	0.77	0.67	2.56	アイユー	アイユー	6	62	1.66
A	15	JP5H56304	コート N SW ジェラルド ET	66,090	109,512	2,184	1,048	51	0.11	110	0.08	38	0.04	0.36	0.24	1.29	0.96	0.95	1.94	アイユー	アイユー	5	57	1.36
A	16	JP4H54859	モントラップ・コールドン・ホルトン ET	60,894	32,460	2,151	-107	75	0.86	20	0.31	30	0.37	0.27	0.06	0.07	0.06	0.40	2.69	アイユー	アイユー	11	86	-0.30
A	18	JP3H55992	ライジング・サン・サマー・ニックス ET	29,799	102,317	2,133	987	53	0.16	79	0.00	40	0.09	0.60	0.39	1.21	0.84	0.83	2.64	アイユー	アイユー	7	63	-0.20
A	19	JP5H55879	ハンカシーン CCM ウェラー	47,920	129,857	2,132	1,321	62	0.11	103	-0.07	38	-0.04	1.98	0.06	1.32	0.41	1.09	2.49	アイユー	アイユー	7	64	1.84
A	20	JP3H56204	カリックス シェアブリーズ	46,973	46,598	2,118	43	81	0.87	33	0.27	25	0.26	1.01	0.41	1.30	0.86	0.92	2.13	アイユー	アイユー	7	566	-0.21
A	21	JP2H56641	NLBC スター・アールジョン ET	67,816	89,119	2,079	856	39	0.05	83	0.10	30	0.01	2.33	0.67	1.81	1.65	1.92	2.12	アイユー	アイユー	6	56	1.23
A	23	JP5H55973	ストリート・エヴァン	74,719	91,950	2,033	885	35	0.00	93	0.15	36	0.07	0.51	0.77	0.20	0.89	1.00	2.26	アイユー	アイユー	6	60	1.95
A	24	JP5H56263	HMU シュリー・オースホリバー	70,115	143,243	2,020	1,694	40	-0.23	120	-0.23	40	-0.15	0.24	0.58	0.50	0.16	0.30	1.60	アイユー	アイユー	5	52	0.70
A	25	JP5H55782	リバーサイド・グレイ ET	75,155	61,989	1,996	514	30	0.13	55	0.18	28	0.12	1.59	1.23	0.97	1.24	1.59	1.94	アイユー	アイユー	7	60	1.14
A	26	JP3H55079	マックス・デー・ニホロ ET	61,166	62,693	1,984	450	45	0.28	66	0.21	34	0.20	0.63	0.21	-0.10	0.67	0.68	1.91	アイユー	アイユー	4	68	0.60
A	28	JP3H56376	ディ・ロップ・キートン ET	73,439	94,050	1,923	999	34	-0.04	90	-0.03	32	-0.01	1.50	0.45	1.28	1.55	1.64	1.77	アイユー	アイユー	6	62	0.59
A	30	JP5H55389	リバー・ブレイク・シュウケリン ET	21,751	96,423	1,837	935	26	-0.11	104	0.25	44	0.15	1.29	-0.22	1.66	1.04	1.12	2.11	アイユー	アイユー	7	49	-0.36

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 制限配布(時期により入荷の少ないもの) C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体脚不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合骨椎形成不全症(OV)は掲載牛全頭検査済みで、保因牛については名号の後に*BYCと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I 順

米国ホルスタイン協会
《2017-4》

供給 種易度	TPI 順位	略号	種雄牛名号	TPI		乳量 (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	信頼度			体型のEBV			血統情報		分娩 難易度
				TR	TP						信頼度	体細胞	生産 寿命	体型	乳器	肢蹄	信頼度	父牛	
D	1	7H012165	ベ-コンヒル モントロ ET	TR	TP	2,744	83	-0.16	83	-0.02	98	3.05	4.6	2.24	1.60	1.87	96	モーグル × ホルトン	6.8
A	2	7H012266	ウットクレスト モーグル ヨダ- ET	TR	TP	2,673	87	0.30	52	0.04	94	2.96	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モーグル × フラネオ	6.0
B	3	7H011352	シーガルバレイ スーパーサイア- ET	TR	TP	2,603	98	0.16	64	0.00	99	2.84	6.6	1.02	0.49	0.02	99	ロハスト × フラネオ	7.2
A	4	200H02792	サンデューパーレー サルーン ET	TR	TY	2,599	83	0.04	71	0.06	98	3.03	1.1	2.85	1.60	1.43	97	フイオタ フラネオ	9.4
A	5	7H012105	S-S-I モーグル リフレクター	TR	TP	2,590	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モーグル × スーパー	8.0
A	6	7H012198	モニンギュー MCC キングホーイ ET	TR	TP	2,567	44	-0.04	40	0.00	98	2.69	4.5	3.28	2.61	1.92	94	マウカセン × スーパー	8.2
A	7	7H011752	ロイレオン フックム ホブ 5170 ET	TR	TP	2,564	65	0.26	50	0.34	98	2.99	4.5	1.89	1.69	0.99	95	フックム × フォーマン	6.7
A	8	7H011708	フース-ルキー 11057 ET	TR	TP	2,555	76	0.30	42	0.08	95	2.73	6.0	1.77	1.31	1.06	92	フックム × フロコ	5.8
B	8	1H011022	S-S-I スーパーマン メイフラワー ET	TV	TL	2,555	52	-0.26	73	0.00	99	2.77	5.6	1.02	0.47	1.29	94	スパーマン × ヴァリアス	7.0
A	10	7H011383	S-S-I スーパーマン モーガン- ET	TR	TP	2,552	59	0.04	48	0.04	99	2.81	7.0	1.55	1.14	0.94	97	フックム × ショトル	7.4

入手難易度

A:配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

〔管理形質の見方について〕

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。

難易度8%が平均値で、この数値が高くなるほど、難産の可能性が高くなります。

特に未系産や尻幅のない小型の娘牛、ETとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な検定種雄牛(本組合で扱いがあるもの)

GLPI 順

おがデン デイリー ネットワーク
《2017-4》

供給 難易	LPI 順位	略号	種雄牛名号	GLPI	乳量		乳脂肪		乳蛋白		体細胞 信頼度	体型のEBV				血統情報		管理形質 分娩能力
					(kg)	F (%)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)		体型	乳器	肢蹄	乳用強 健性	尻	父牛	
	2	200H3910	コムスター ロートラスト	3,330	1,637	86	0.2	76	0.17	2.90	88	14	13	14	7	11	スーダン × マンマン	100
	3	250H1043	ジェニベック アイクマン RC	3,237	1,380	111	0.53	76	0.25	2.65	92	7	7	6	7	-2	スーダン × ハウスター	106
	4	250H6480	ハルビツジントアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	2.50	99	16	13	11	16	3	ブツナム × シトル	99
	5	7H12111	ミスター OCD エビツクドラゴンハート ET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	2.93	89	12	13	6	1	8	エビツク × プラネット	105
	6	7H12026	デュー MGL グリーンウェイ 11396 ET	3,206	2,224	99	0.13	84	0.09	2.83	87	9	7	8	2	2	モーガル × プラネット	107
	7	7H11314	マウントファイールド SSI DCY モーガル ET	3,201	1,535	102	0.39	59	0.07	2.91	98	13	13	12	5	2	ドロウ × マーシュ	105
	1	250H1009	メイプルウッド ブリューマスター	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	2.67	93	8	6	5	8	9	キレット × シトル	102
	8	250H12128	キルガー モーグル ソロ ET	3,126	1,566	65	0.05	52	0.01	2.80	87	14	11	14	8	6	モーガル ドメイン	104
	9	250H1109	スタントンス カマロ	3,105	654	84	0.57	51	0.25	2.89	86	10	7	10	5	6	エビツク × プレデー	107
	10	200H10362	スタントンス キャピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	2.68	86	12	13	7	9	-3	マツカチ × オブザーバー	99

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。

B: 割当配布(時期により入荷の厳しいもの)

C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)

D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)

E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

【管理形質の見方について】

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。

難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。

分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の

相関関係が確認されています。

特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてください。

潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をすすめる非常に重要な要素となりま

～ 乳用牛改良情報(ホル♀) ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛

総合指数順 (N T P)

《2017-8》

NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命連産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定管理値)						体型のEBV				血統情報		産子連産 スコア	備考	
						M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格	肢蹄	乳用強 健性	乳器	決定 得点			父牛
4	JP5H55552	サンワート スーパ- エモーション ET	116,214	141,246	2,590	1,425	58	0.03	139	0.04	46	0.01	-0.06	0.64	0.59	0.84	0.71	スーパー × ハワスター	6	
7	JP3H55953	レイバー ナイガラ ハリッシュ ET	67,963	102,603	2,241	981	41	0.05	105	0.16	41	0.10	9.00	0.09	0.53	1.47	0.97	ナイアガラ × ジェットストリーム	6	
8	JP3H55839	レイニュー ナイト エリアス ET	104,836	135,510	2,236	1,486	22	-0.34	145	0.18	48	0.02	0.51	0.32	0.32	1.19	1.04	ナイアガラ × ショトル	7	
14	JP3H56115	ピュアソウル ロオ ハツオ	39,972	114,868	2,006	1,177	57	0.11	93	-0.06	36	-0.02	1.96	0.65	1.40	0.40	1.12	アイオーン × ゴールドウイン	7	
15	JP5H56304	ゴールド N SW シェラルド ET	47,871	47,871	1,964	1,130	41	-0.02	108	0.09	50	0.15	-0.27	0.05	-0.17	-0.24	-0.36	プラネット × ショトル	6	
18	JP3H55992	ライジングサン サマー ソニック ET	21,023	21,023	1,959	866	48	0.15	70	0.01	36	0.10	0.57	0.39	1.15	0.82	0.81	ビーコン × ハワスター	7	
19	JP5H55879	ハンガソン CCM ウェーノ	26,032	26,032	1,955	1,058	29	-0.12	114	0.23	47	0.14	1.32	-0.17	1.58	0.96	1.05	プラネット × オーマン	7	
20	JP3H56204	サリックス シーフリース	58,012	58,012	1,806	721	36	0.10	0.01	0.01	27	0.05	0.82	0.21	0.54	1.22	0.43	ヒル × ランスロット	6	
23	JP5H55973	ストリア エヴァン	93,545	93,545	1,805	1,357	39	-0.08	39	-0.08	33	-0.10	0.56	0.92	0.58	0.47	0.86	フレディ × タイタニック	6	
25	JP5H55782	リバーサイト クレイブ ET	69,660	122,262	1,805	1,464	23	-0.32	114	0.01	38	-0.09	0.72	0.44	0.93	0.74	0.89	スーパー × ハワスター	7	

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

米國ホルスタイン協会
《2017-4》

◎兵庫県において精液供給可能な(H29年4月現在)輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I

略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	信頼度	体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報		分娩 難易 度	備考
											体型	乳器	四肢	信頼度	父牛		
507H12165	ベークンヒル モントロス ET	2,771	2,689	85	-0.12	80	0.00	96	3.03	4.9	2.36	1.78	2.02	92	モーグル × ホルトン	7.1	
507H12266	ウットクレスト モーグル ヨダー ET	2,673	1,373	87	0.30	52	0.04	94	2.96	6.3	1.97	1.62	1.81	88	モーグル × プラネット	6.0	
507H11351	シーガル ベイ スーパーサイアー ET	2,644	2,090	99	0.16	64	0.00	99	2.86	6.3	1.18	0.58	0.22	99	ロバート × プラネット	7.3	
507H12105	S-S-I モーグル リフレクター	2,590	1,428	37	-0.12	60	0.12	97	2.8	6.4	1.99	1.34	1.75	93	モーグル スーパー	8.0	
507H12198	モニングビュー MCC キングボーイ	2,555	1,199	44	-0.06	41	0.00	92	2.77	4.3	3.16	2.69	2.36	88	マカブエン スーパー	8.1	
507H11708	デスー ルーキー 11057 ET	2,574	1,093	80	0.30	43	0.08	95	2.76	5.7	1.79	1.33	1.12	92	ブッシュ フロコ	5.7	
507H11621	S-S-I スノーマン メイフラワー ET	2,609	2,393	52	-0.28	74	0.02	98	2.79	5.5	1.07	0.64	1.38	93	スノーマン × ソケット	7.1	
507H11383	S-S-I ブックム モーガン ET	2,566	1,360	54	0.04	46	0.06	99	2.85	7.3	1.65	1.25	0.99	97	ブッシュ × シトル	7.3	
507H 11585	サンデハイバレー スターリング ET	2,506	1,801	50	-0.14	56	0.00	99	3.16	6.1	2.12	1.20	1.33	98	ロバート × プラネット	6.7	
507H11525	ミスター OCD ロバート トナロ ET	2,495	1,036	66	0.22	43	0.10	99	2.88	5.6	1.1	1.10	0.69	97	ロバート × プラネット	5.9	
507H11314	マウントファイールド SSI DCY モーグル	2,494	1,147	73	0.12	36	0.02	99	2.98	4.3	2.3	2.48	2.42	99	ドロウ × マーシェ	6.0	
507H12014	デスー MG タビッチ 11288 ET	2,491	740	71	0.34	43	0.16	96	2.81	4.6	2.14	2.29	1.96	94	モーグル シトル	7.0	
507H11419	シーガル ベイ ヘットライナー ET	2,472	1,731	70	0.04	60	0.06	99	3.19	2.1	2.34	1.58	1.97	99	ロバート × プラネット	7.7	
507H12139	シーマーズ モーグル パティー ET	2,457	1,198	48	0.02	41	0.04	96	2.96	4.5	2.74	2.86	1.72	91	モーグル エクスプロード	6.4	
507H11169	ウェルカム スーパー パトロ ET	2,397	498	35	0.14	8	-0.06	99	2.63	7.2	1.12	1.42	1.18	99	スーパー × ハクスター	6.8	

[管理形質の見方について]

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の
 相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が運動性を待つことで、生乳生産性向上を促す非常に重要な要素となります。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。
 ～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

©兵庫県において精液供給可能な(H29年1月現在)検定済種雄牛(カナダ)

Canadian Dairy Network
 《2017-4》

L P I 順

略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV				血統情報	分娩 能力	備考	
				F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	乳用 強韌 性				尻
777H6480	バルビツン トアマン ET	3,224	328	60	0.44	48	0.32	2.50	99%	16	13	11	16	3	アックム × ショトル	99	
507H1211	ミスター OCD エビックドラゴンハート ET	3,211	3,099	64	-0.42	70	-0.25	2.93	89%	12	13	6	1	8	エビック × フラネット	105	
550H1009	メープル ウード ブルーマスター ET	3,186	1,235	133	0.77	54	0.12	2.67	93%	8	6	5	8	9	カレット × ショトル	102	
777H10364	スタントンス キャピタルゲイン	3,093	2,632	81	-0.11	68	-0.14	2.68	86%	12	13	7	9	-3	マックエン オブザバーバー	99	
777H6551	ビューソール フレイム ET	3,021	-515	96	1.16	28	0.39	2.99	87%	9	7	10	5	3	ヌロウ × フルデー	100	
777H3829	JK エター I コントロール	3,016	921	15	-0.16	44	0.11	2.67	95%	15	9	14	11	12	スノーマン × ホルトン	98	
559H1066	シェナベーションズ ビック カフナ	3,011	2,106	71	-0.05	73	0.03	2.84	87%	8	10	2	7	3	エビック ホルトン	105	
777H3864	シレット ミスター ションソ	3,009	2,288	45	-0.35	66	-0.07	2.76	91%	13	11	13	8	4	スノーマン ゴードラウソ	104	
550H1002	シェナベーションズ エビック	2,905	1,480	41	-0.11	51	0.02	2.84	99%	10	9	7	5	7	スノーマン ハグスター	104	

入手難易度

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の
 相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未經産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所管内
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

1月のGRI（海上運賃一斉値上げ）は多くの船社が回避しています。2月1日付でのGRIの通知を出しているところもありますが、当面値上げは実施しないことを表明している船社も出てきています。今後、各船社は経営状況を勘案しながら、取扱貨物や積み出し港により、運賃の値上げの必要性を判断していくものと思われます。引き続き各船社の動向には注視が必要です。

ビートパルプ

<米国産>

現在順調に製糖作業およびビートパルプの生産が行われています。昨年11月の時点では、温暖な天候により保管中のビート大根の品質維持に若干懸念があるとみられていましたが、その後は例年並みの寒さとなり、現時点では原料大根の保管状況に大きな懸念はなさそうです。

今年度産のビートパルプの生産量は一部地域で想定以上に単収が落ちたことにより下方修正されています。日本向けの供給量には影響はありませんが、生産減の影響が全体の需給を引き締める結果となり、産地在庫はほぼ契約済みとなっているようです。

新穀の作付けはアイダホ州やミシガン州などの早い地域で3月末、日本向け主産地であるミネソタ州やノースダコタ州では4月中旬頃からスタートします。作付面積については現在のところ、大きな変動をもたらす要因は見当たりません。

アルファルファ

ワシントン州

産地在庫については、輸出向けおよび米国内酪農家から高成分の上級品に対する需要が引き続き堅調であり、これらの品質についてはほぼ成約済みとなっています。中～低級品については、一部の生産農家では在庫を抱えているようです。産地価格に大きな変化はなく堅調に推移しています。

また、現地では降雪が多い時期に入ってきており、原料の搬入や港までの輸送などに遅延が起りやすくなっています。

オレゴン州

南部クラマスフォールズ、中部クリスマスバレーの両地区とも前月から産地情勢に大きな変化はありません。高成分の上級品に対する米国内酪農家からの引き合いは引き続き強く、産地価格は高値のまま堅調に推移しています。

カリフォルニア州

南部インペリアルバレーでは12月上旬で17年産の生産が終了し、2月中旬頃から始まる新穀の収穫準備が進んでいます。17年産は総じて、例年に比べ高成分の上級品の発生は少なく中級品以下が多い傾向となりました。中国向けの需要については、産地価格の上昇と乳価の下落によりやや低調ではあるものの、中東及び米国内酪農家からの需要は旺盛です。産地相場は9月に一旦軟化しかけたものの、10月以降は強含んだままで推移しています。米国内需要は酪農家からだけでなく、肥育農家からの引き合いも旺盛なことから、産地在庫は上級品から低級品まで例年よりも少ない状況となっております。

2017年

米国産 アルファルファ(ALFALFA HAY) 輸出量 (1-10月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
日本	46,098	46,672	52,540	52,434	53,693	46,191	39,536	38,201	43,489	45,093	463,947
韓国	16,151	15,249	20,924	19,461	20,203	14,546	11,379	14,287	13,610	17,734	163,544
UAE	28,598	20,837	29,170	34,084	36,037	22,692	16,158	15,421	12,419	14,052	229,468
台湾	3,711	4,159	4,230	5,092	5,530	6,590	4,690	4,919	5,151	4,445	48,517
中国	73,225	109,541	121,371	122,612	116,679	109,210	84,384	93,816	79,085	75,033	984,956
ベトナム	963	114	340	283	585	581	129	429	46	0	3,470
サウジ	17,860	18,574	36,165	29,214	31,086	32,753	23,236	31,900	41,841	30,575	293,204
カナダ	2,988	3,045	4,723	3,779	4,001	3,632	3,598	4,135	2,681	3,291	35,873
インドネシア	542	786	98	170	0	310	412	416	464	546	3,744
マレーシア	312	476	49	155	64	119	67	154	122	194	1,712
その他	1,969	2,307	1,564	1,496	756	656	629	389	535	1,589	11,890
計	192,417	221,760	271,174	268,780	268,634	237,280	184,218	204,067	199,443	192,552	2,240,325

USDA アルファルファハイ 国別輸出量 2017年1月-10月

USDA（米国農務省）発表の乾牧草輸出統計によると、2017年の米国から各国へのアルファルファ輸出量は2016年と同様に10月末時点ですでに200万トンを超えています。日本向けの輸出量は10月末時点で約46万トンと、中国に次いで2位ですが、前年の同期比では6万トン程輸出量が増えています。日本向け以上に輸出量が増えているのがサウジアラビアで、前年に比べ11万トンも輸出量が増えています。サウジアラビアは自国内での自給粗飼料生産の中止を検討していることから、近年では米国産をはじめとして、アルファルファの輸入量が急増しています。産地への大規模な投資も本格化しており、今後の動向に注目が集まります。

米国産チモシー

米国産チモシーの需要は日本および韓国から旺盛な状況が続いています。このため、産地相場は強含んだまま堅調に推移しています。産地在庫は一部の低級品には余裕があるようですが、上級品は限定的と言われてています。

米国産チモシーの輸入量は、新穀の輸入が始まって以降の8-11月の輸入量の合計は約11万トンで、前年同期比101%となっています。

18年産については、産地相場の高騰を背景に、作付面積は増加することが予想されています。播種時期の秋期以降の天候・気候は例年並みであり、これまでのところ新穀の生育への不安点はありません。

カナダ産チモシー

17年産は収穫期の天候に恵まれたことから、南部レスブリッジ地区および中部クレモナ地区のどちらの地区においても発生量の半数以上が上級品の発生となりました。良好な作柄と米国産チモシーの価格高騰により相対的に割安であることから、日本および韓国からの引き合いは非常に強く、産地在庫はほぼ成約済の状況となっております。

カナダ産チモシーの輸入量は、新穀の輸入が始まって以降の8-11月で約3万8,000トンと、前年同期比151%となっております。米国産チモシーと合算した輸入数量は8-11月で前年同期比110%となっており、やや輸入量過多であったことが見受けられます。

スーダングラス

今年度のスーダングラスの生産は終了しており、産地在庫は一部の低級品を除きほぼ成約済みのようです。産地価格は米国産チモシーの高騰の影響を受け、当初予想よりも上げ幅が大きくなりました。特に色抜けのプレミアム品の上げ幅大きく、低級品との価格差が例年よりも広がった年となっています。

17年産の作付面積は前年と比べ増加しましたが、18年産は競合作物である小麦の作付面積が2017年12月時点で昨年比3000エーカーほど多くなっていることから、早播きスーダンの作付面積の動向には注視していく必要があります。

日本のスーダングラス輸入量は2017年1~11月で前年比103%となっています。米国産チモシーの高騰や天候に恵まれた収穫期前半に比較的良品が多く収穫されたことによるものと考えられます。年間の累計でも5年ぶりに前年数量を超えることが予想されますが、豪州産オーツの新穀の価格・品質によって需要が変動する可能性はあります。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

17年産の生産量は作付面積の減少の影響で前年に比べ25-30%減少したと推測されています。生産量の減少により、ほとんどの良品は既に成約済となっており、品質がやや劣るものについても韓国向け中心に出荷は順調で、産地在庫はほぼ残っていない状況です。

一方で、17年産の価格が生産農家にとって魅力的であったことや依然として堅調な引き合いを背景に12月時点の作付面積は前年同期比で27%増加しており、18年産の作付面積は16年産並みに回復する公算が強くなっています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

17年産については、作付面積、単収が減少していることから生産量は少なく、繰越在庫も非常に限定的だったことから、多くの生産農家が売り時を探って未だに在庫を抱えている状況です。年明けから徐々に商いが広がっているようですが、今後も注意深く情報を収集する必要があるようです。また、ストロー類の輸入量が多い韓国からの需要は依然として旺盛な状況が続いています。このような状況から、産地相場は引き続き上昇を続けています。今後は韓国の需要動向と豪州産ストローの作柄や価格によって需給バランスに変化があるか注目されるところです。

豪州産オーツハイ

西豪州の収穫はほぼ終了しています。収穫期の後半には降雨を逃れた圃場では刈り遅れ品が発生しており、それらの多くは中級～低級品となりました。新穀の上級品の数量は例年よりも限られています。繰り越し在庫もあり今シーズン中の通年供給は可能と考えられます。降雨による作柄の悪化が懸念されていたウィートストローは、12月に入って降雨が少なくなったため大きな影響はありませんでした。

南豪州、東豪州も収穫作業はほぼ終了しています。新穀の多くは上級品となっており、中級品および低級品は旧穀の繰り越し在庫も合わせて供給する体制になりそうです。また当地域では12月中旬に降雨があり、ストロー類には大きな影響が出ているようです。

新穀の船積みが本格化して以降、各サプライヤーの工場ではフル稼働が続いています。特に中国向けは旧正月前の入船を目指し大量に輸出されています。このため、1月中の出港分はオーダーが入りにくい状況が続いています。

産地価格は主力の産地や取扱する各グレードの集荷数量によって、一部サプライヤーは値下げに動いているところもあり、依然として流動的な部分があります。

以上